



2018年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2018年5月2日
東

上場会社名 株式会社アイスタイル 上場取引所
 コード番号 3660 URL <http://www.istyle.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉松 徹郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 菅原 敬 (TEL) 03(5575)1260
 四半期報告書提出予定日 2018年5月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 2018年6月期第3四半期の連結業績(2017年7月1日～2018年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2018年6月期第3四半期	20,711	56.1	1,669	47.1	1,677	62.9	923	8.4
2017年6月期第3四半期	13,265	25.0	1,135	△15.7	1,029	△20.4	852	△16.2

(注) 包括利益 2018年6月期第3四半期 429百万円(△61.3%) 2017年6月期第3四半期 1,109百万円(49.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2018年6月期第3四半期	14.56	14.26
2017年6月期第3四半期	14.70	14.12

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2018年6月期第3四半期	20,995	11,686	54.1
2017年6月期	18,141	11,013	59.4

(参考) 自己資本 2018年6月期第3四半期 11,358百万円 2017年6月期 10,772百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2017年6月期	—	0.00	—	0.50	0.50
2018年6月期	—	0.00	—	—	—
2018年6月期(予想)	—	—	—	0.50	0.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2018年6月期の連結業績予想(2017年7月1日～2018年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,600	40.8	2,000	36.5	1,900	46.3	1,150	6.9	18.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2018年6月期3Q	66,916,400株	2017年6月期	65,852,400株
② 期末自己株式数	2018年6月期3Q	2,709,852株	2017年6月期	2,709,806株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2018年6月期3Q	63,367,682株	2017年6月期3Q	57,925,040株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信[添付資料]4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(日付の表示変更について)

2018年6月期第1四半期より、日付の表示を和暦から西暦へ変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは2016年8月3日発表の中期経営計画に基づき、当連結会計年度を選択と集中のフェーズと定め、特にOn Platform事業における収益基盤の確立に注力しております。

・On Platform事業

化粧品メーカー向けの既存サービスが着実に成長いたしました。なお、当第3四半期連結会計期間におきましては、新サービスのリリースに向け将来の利益を優先し、戦略的に人的リソースを分散したことにより、収益の伸びは限定的となりました。

・Beauty Service事業

ECおよび各店舗の成長により大きく増収増益となりました。なお、当第3四半期連結会計期間に2店舗を新規開店し、小型店を1店舗閉店しております。

・Global事業

中国の越境ECが成長したほか、前連結会計年度に子会社化することを決定した海外企業3社の損益計算書を第1四半期連結会計期間より連結したため大きく増収となりました。また、それに伴う3社ののれんの償却により費用が増加し赤字となりましたが、当初の計画より好調に推移いたしました。

・その他事業

第1四半期および当第3四半期連結会計期間に実施した営業投資有価証券の売却の影響もあり、大きく増収増益となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間（2017年7月1日～2018年3月31日）の業績は次のとおりとなりました。

売上高	20,711百万円	（前年同期比	56.1%増）
営業利益	1,669百万円	（前年同期比	47.1%増）
経常利益	1,677百万円	（前年同期比	62.9%増）
税金等調整前四半期純利益	1,658百万円	（前年同期比	26.7%増）※
親会社株主に帰属する四半期純利益	923百万円	（前年同期比	8.4%増）※

※前第3四半期連結会計期間において、投資有価証券の売却益として特別利益283百万円を計上しております。

① On Platform事業

当セグメントには、当社が運営する美容系総合ポータルサイト「@cosme（アットコスメ）」を基盤とした各種サービス（BtoB、BtoC）が属しております。

当第3四半期連結累計期間におきましては、ブランディング広告やバナー広告、「ブランドファンクラブ」などの化粧品メーカー向けの既存サービスを中心に成長しました。なお、当第3四半期連結会計期間におきましては、新サービスのリリースに向け将来の利益を優先し、戦略的に人的リソースを分散したことや、組織体制の強化による費用の増加などにより、収益の伸びは限定的となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は以下のとおりとなりました。

売上高	5,379百万円	（前年同期比	5.7%増）
セグメント利益	1,986百万円	（前年同期比	4.1%増）

なお、BtoBサービスにおきましては、4月から化粧品メーカー向けの新サービスを提供しておりますが、当該サービスによる当連結会計年度の業績に対する影響は軽微と見込んでおります。

BtoCサービスにおきましては、3月にプレミアム課金サービスをリニューアルし、積極的なプロモーションは来期以降を予定しております。

② Beauty Service事業

当セグメントには、国内における化粧品ECサイト「@cosme shopping (アットコスメショッピング)」の運営、化粧品専門店「@cosme store (アットコスメストア)」の運営や、プライベートブランドの企画・開発・販売が属しております。

ECにおきましては、「@cosme」でランキング上位の商品の取扱いを強化したことに加え、「@cosme」からの送客の強化を行ったことなどにより売上が好調に推移いたしました。

国内の店舗におきましては、当第3四半期連結会計期間に2店舗を新規開店し、小型店を1店舗閉店したことにより、当第3四半期末の店舗数は25店舗（前年同四半期末23店舗）となりました。

当連結会計年度は出店を抑制し前連結会計年度に出店した店舗の収益化を図るフェーズとしており、各店舗が成長し大きく増収増益となりました。なお、当第3四半期連結会計期間に新規開店した「ららぽーと富士見店」は、初の欧米百貨店ブランドを多数含むチャネル横断型の店舗となっております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は以下のとおりとなりました。

売上高	8,839百万円	(前年同期比	42.8%増)
セグメント利益	426百万円	(前年同期比	148.6%増)

③ Global事業

当セグメントには、日本国外で展開するサービスが属しております。

中国における越境ECにおきましては、W11※1という季節要因もあり上期の業績が牽引し、好調に推移いたしました。

台湾の店舗におきましては、当第3四半期連結会計期間に4店舗目を新規開店しました。既存の3店舗（昨年5月、6月開店）におきましては、引き続き、新規顧客およびリピート客の増加に向けて取り組んでおります。

第1四半期連結会計期間より損益計算書の連結を開始した海外企業3社※2におきましては、引き続き、中長期的な事業の成長に向けた取り組みや効率化・合理化を進めております。なお、当第3四半期連結累計期間の3社に対するのれんの償却を約279百万円（当第3四半期連結会計期間ののれん償却額：約93百万円）計上したことにより赤字となりましたが、当初の計画より好調に推移いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は以下のとおりとなりました。

売上高	5,451百万円	(前年同期比	201.4%増)
セグメント損失	7百万円	(前年同期	セグメント利益 106百万円)

なお、第4四半期連結会計期間において香港に1店舗目を新規開店する予定であり、現在準備を進めております。

※1 11月11日に中国で開催されるECの大規模なセール

※2 下記の3社

- ・Hermo Creative(M)Sdn. Bhd. (マレーシアで化粧品ECサイト「Hermo」を運営)
- ・i-TRUE Communications Inc. (台湾で化粧品レビューメディア「UrCosme」を運営)
- ・MUA Inc. (米国で化粧品レビューメディア「MakeupAlley」を運営)

④ その他事業

当セグメントには、美容部員等を派遣する人材派遣事業と、創業間もない企業も含め幅広い成長ステージの企業に投資する投資育成事業が属しております。

当第3四半期連結累計期間におきましては、人材派遣事業が着実に成長したほか、第1四半期および当第3四半期連結会計期間に実施した投資育成事業における営業投資有価証券の売却の影響もあり、大幅な増収増益となっております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は以下のとおりとなりました。

売上高	1,042百万円	(前年同期比	484.8%増)
セグメント利益	407百万円	(前年同期比	373百万円増)

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の部

当第3四半期連結会計期間末における資産の額は、前連結会計年度末に比べ2,855百万円増加し、20,995百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の額は、前連結会計年度末に比べ227百万円増加し、12,793百万円となりました。これは主に、営業投資有価証券が513百万円減少したものの、現金及び預金が101百万円、受取手形及び売掛金が453百万円、商品が581百万円増加したこと等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の額は、前連結会計年度末に比べ2,628百万円増加し、8,202百万円となりました。これは主に、のれんが1,377百万円、投資有価証券が420百万円増加したこと等によるものであります。

② 負債の部

当第3四半期連結会計期間末における負債の額は、前連結会計年度末に比べ2,182百万円増加し、9,309百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の額は、前連結会計年度末に比べ2,154百万円増加し、6,510百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が544百万円、短期借入金が1,000百万円、1年内返済予定の長期借入金が211百万円増加したこと等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の額は、前連結会計年度末に比べ27百万円増加し、2,799百万円となりました。これは主に、長期借入金が30百万円増加したこと等によるものであります。

③ 純資産の部

当第3四半期連結会計期間末における純資産の額は、前連結会計年度末に比べ673百万円増加し、11,686百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が433百万円減少したものの、利益剰余金が975百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年6月期の通期の連結業績予想につきましては、2017年8月4日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,169	6,270
受取手形及び売掛金	2,282	2,735
商品	1,584	2,165
営業投資有価証券	1,629	1,116
その他	915	519
貸倒引当金	△13	△11
流動資産合計	12,567	12,793
固定資産		
有形固定資産	824	909
無形固定資産		
のれん	2,135	3,512
ソフトウェア	1,180	1,110
その他	116	820
無形固定資産合計	3,431	5,442
投資その他の資産		
投資有価証券	471	892
その他	848	959
投資その他の資産合計	1,320	1,851
固定資産合計	5,574	8,202
資産合計	18,141	20,995

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,258	1,802
短期借入金	—	1,000
1年内返済予定の長期借入金	1,162	1,374
未払法人税等	326	449
賞与引当金	173	171
その他	1,436	1,714
流動負債合計	4,356	6,510
固定負債		
長期借入金	2,756	2,785
その他	16	13
固定負債合計	2,772	2,799
負債合計	7,127	9,309
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,482	3,554
資本剰余金	3,417	3,489
利益剰余金	3,535	4,509
自己株式	△281	△281
株主資本合計	10,153	11,271
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	546	113
為替換算調整勘定	74	△25
その他の包括利益累計額合計	620	88
新株予約権	75	80
非支配株主持分	165	248
純資産合計	11,013	11,686
負債純資産合計	18,141	20,995

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2016年7月1日 至2017年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2017年7月1日 至2018年3月31日)
売上高	13,265	20,711
売上原価	5,991	10,636
売上総利益	7,274	10,075
販売費及び一般管理費	6,139	8,406
営業利益	1,135	1,669
営業外収益		
受取利息	1	1
為替差益	—	9
投資事業組合運用益	10	4
その他	7	13
営業外収益合計	18	27
営業外費用		
支払利息	10	10
為替差損	37	—
持分法による投資損失	65	6
その他	10	4
営業外費用合計	123	19
経常利益	1,029	1,677
特別利益		
投資有価証券売却益	283	—
特別利益合計	283	—
特別損失		
投資有価証券評価損	2	—
減損損失	—	14
その他	2	5
特別損失合計	4	19
税金等調整前四半期純利益	1,309	1,658
法人税等	455	697
四半期純利益	854	961
非支配株主に帰属する四半期純利益	2	38
親会社株主に帰属する四半期純利益	852	923

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2016年7月1日 至 2017年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2017年7月1日 至 2018年3月31日)
四半期純利益	854	961
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	154	△362
為替換算調整勘定	30	△99
持分法適用会社に対する持分相当額	71	△71
その他の包括利益合計	255	△532
四半期包括利益	1,109	429
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,106	390
非支配株主に係る四半期包括利益	2	39

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2016年7月1日 至 2017年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					調整額 (注) 1 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 (百万円)
	On Platform 事業 (百万円)	Beauty Service事業 (百万円)	Global事業 (百万円)	その他事業 (百万円)	合計 (百万円)		
売上高							
外部顧客への売上高	5,089	6,190	1,808	178	13,265	—	13,265
セグメント間の内部 売上高又は振替高	14	3	58	22	96	△96	—
計	5,102	6,193	1,866	200	13,362	△96	13,265
セグメント利益	1,908	171	106	34	2,220	△1,085	1,135

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,085百万円は、セグメント間取引消去7百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,092百万円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

第1四半期連結会計期間において株式会社Eat Smartの株式取得を行い、新たに連結子会社としたことにより「On Platform事業」セグメントにおいてのれんが77百万円増加しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2017年7月1日 至 2018年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					調整額 (注) 1 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 (百万円)
	On Platform 事業 (百万円)	Beauty Service事業 (百万円)	Global事業 (百万円)	その他事業 (百万円)	合計 (百万円)		
売上高							
外部顧客への売上高	5,379	8,839	5,451	1,042	20,711	-	20,711
セグメント間の内部 売上高又は振替高	14	44	26	9	94	△94	-
計	5,393	8,883	5,478	1,051	20,804	△94	20,711
セグメント利益又は損失 (△)	1,986	426	△7	407	2,812	△1,143	1,669

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,143百万円は、セグメント間取引消去10百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,153百万円であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「Beauty Service事業」セグメントにおいて、退店予定の1店舗について減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において14百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

第1四半期連結会計期間においてMUA Inc.の株式取得を行い、新たに連結子会社としたことにより「Global事業」セグメントにおいてのれんが1,692百万円増加しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。